

統合分野 看護の統合と実践 授業計画

授業科目及び時間数	災害看護 1単位 30時間	
開講時期	2年次 前期	
担当教員	川井和枝・学内教員	
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>震災、風水害等が多くみられる今日、資源や人材が潤沢にある平常時と異なる医療環境を学び、臨機応変に対応できる柔軟性や、極限状態に追い込まれている患者との援助的な人間関係を築く能力を修得し、緊急時に対応できる技術や、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくする活動を通して災害時における看護の役割が考えられることが求められている。そこで、災害に対する基礎的知識及び災害時の問題を知り、災害救護合宿を通して被災者の抱える身体・心理・社会的な問題、看護の果たす役割について考えられること、また災害時に必要な技術の修得及び援助方法を理解することを到達目標とする。</p>		
授業計画・内容・担当教員		
1回目	1. 災害医療の基礎 1) 歴史 2) 種類 3) サイクル	講義 (川井) 救急看護認定看護師
2回目	1. 災害各期の特徴 2. 災害に対する備え	講義 (川井)
3回目	1. トリアージの原則 2. トリアージの実際	講義 (川井)
4回目	トリアージタックについて	講義 (川井)
5回目	1. 亜急性期～中長期の看護 2. こころのケア	講義 (川井)
6回目	心のケア 事例検討	講義・グループワーク (川井)
7回目	1. START 法について 2. トリアージ演習	講義・演習 (川井)
8回目	三角巾の取り扱い	講義・演習 (川井)
9回目	避難上運営ゲーム	講義・演習 (川井)
10回目	災害訓練	訓練
11回目	災害訓練	訓練
12回目	災害訓練	訓練
13回目	災害訓練	訓練
14回目	災害訓練のまとめ	訓練
15回目	終了試験	
評価方法	筆記試験 (100%)	
受講生に対するメッセージ	健康に留意し積極的に参加してほしい。	
テキスト	系統 災害看護学・国際看護学 看護の統合と実践③ 医学書院	
参考書		